

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	スポーツリハビリテーション	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	プリントを適宜配布						
担当教員情報							
担当教員	萩原 麻耶			実務経験の有無・職種	有・パーソナルトレーナー		
学習目的							
受傷から、スポーツ現場復帰までのサポートに関する知識を学ぶ。日常生活よりも、より洗練された、激しい動きを要求される「スポーツ」を実行するためには、障害の治癒というゴールの他に低下してしまった運動能力の再教育が必要となってくる。しかし、トレーニングによる運動機能回復は完全な治癒を待ってから始めるのでは時間的な無駄が多いと考えられている。障害回復過程におけるトレーニングの方法を学び、安全で効果的なスポーツ現場復帰の方法を身に付ける。							
到達目標							
外傷・障害別のリハビリテーションメニューを各段階ごとに作成・指導できるようにする。障害の治癒過程に関する評価の方法を知ること、目標とする競技の特性を考慮に入れられるか。そして、それに合わせたトレーニングメニューを提案できるようになるかを到達目標とする。また、障害をもったアスリートがどのような精神状態の変化が有るのかも理解できるようにする。実際にトレーニングメニューが組めるようになることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	受傷から、スポーツ現場復帰までのサポートに関する知識を学ぶ。障害を部位別に認識し、その部位に関連した機能低下の部分を確認する方法を学ぶ。其々のk脳障害に体するトレーニングの方法をまなぶ。実行できるものはできるだけ体験し理解する。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	期末試験				
	小テスト	0%					
	レポート	20%	数回				
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	オリエンテーション・スポーツリハビリテーションとは		スポーツリハビリテーションの実際を理解する。				
2回	足関節・足部の外傷・障害に対するリハビリテーション①		足部の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
3回	足関節・足部の外傷・障害に対するリハビリテーション②		足部の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
4回	膝関節の外傷・障害に対するリハビリテーション①		膝部の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
5回	膝関節の外傷・障害に対するリハビリテーション②		膝部の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
6回	下肢の肉離れに対するリハビリテーション		下肢の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
7回	腰部・股関節の外傷・障害に対するリハビリテーション①		腰節の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
8回	腰部・股関節の外傷・障害に対するリハビリテーション②		腰節の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
9回	腰部・股関節の外傷・障害に対するリハビリテーション③		骨盤周りの障害とそのトレーニング方法を理解する。				
10回	肩関節の外傷・障害に対するリハビリテーション①		肩周りの障害とそのトレーニング方法を理解する。				
11回	肩関節の外傷・障害に対するリハビリテーション②		肩周りの障害とそのトレーニング方法を理解する。				
12回	肩関節の外傷・障害に対するリハビリテーション③		肩周りの障害とそのトレーニング方法を理解する。				
13回	肘関節の外傷・障害に対するリハビリテーション		肘部の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
14回	手関節の外傷・障害に対するリハビリテーション		手の障害とそのトレーニング方法を理解する。				
15回	確認・まとめ		全体的なまとめを行う。				